

# 三菱UFJ 欧州債券オープン（3ヵ月決算型）

## 愛称：四季の恵み（欧州債券）

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2021年11月16日～2022年5月16日

第 78 期 決算日：2022年 2 月15日

第 79 期 決算日：2022年 5 月16日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、欧州主要国（ユーロ参加国）の公社債を主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、長期的な収益の獲得をめざすことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

#### 第79期末（2022年5月16日）

基準価額 11,598円

純資産総額 1,274百万円

#### 第78期～第79期

騰落率 - 7.3%

分配金合計(\*) 65円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

#### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

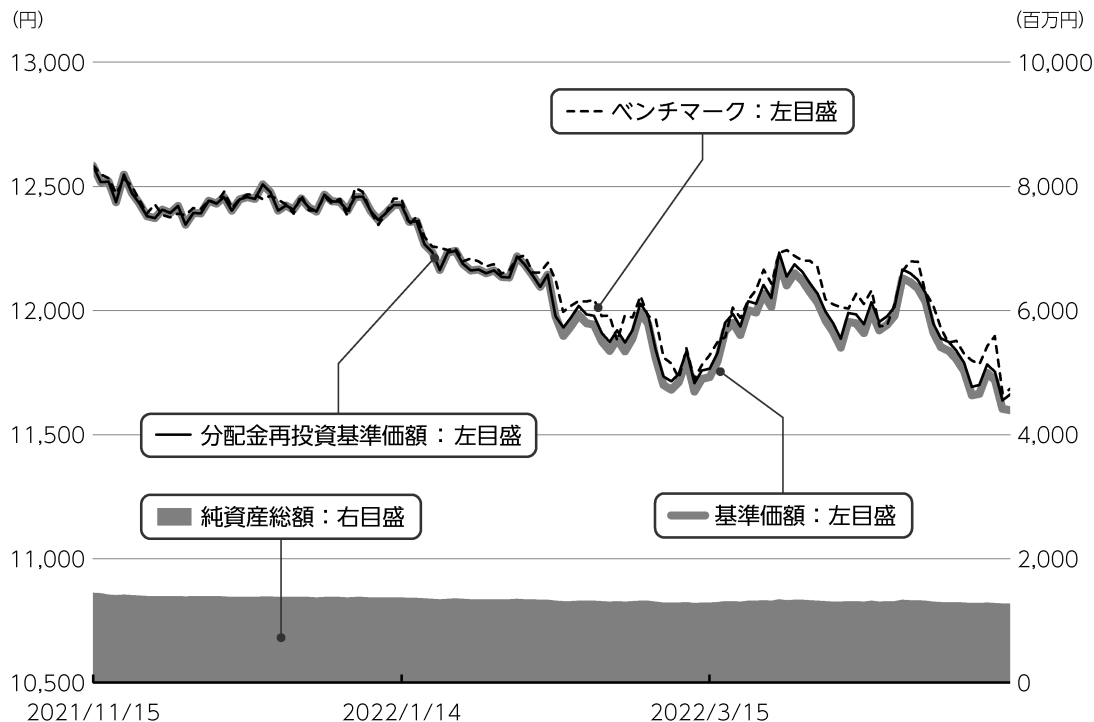
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第78期～第79期：2021年11月16日～2022年5月16日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第78期首	12,584円
第79期末	11,598円
既払分配金	65円
騰落率	-7.3%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

### ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-7.2%）を0.1%下回りました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

ユーロが対円で上昇したことや、債券利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

欧州長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、FTSE EMU国債インデックス（円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年11月16日～2022年5月16日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第78期～第79期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	73	0.603	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(37)	(0.302)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0.274)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.021	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.019)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	76	0.624	

作成期中の平均基準価額は、12,126円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

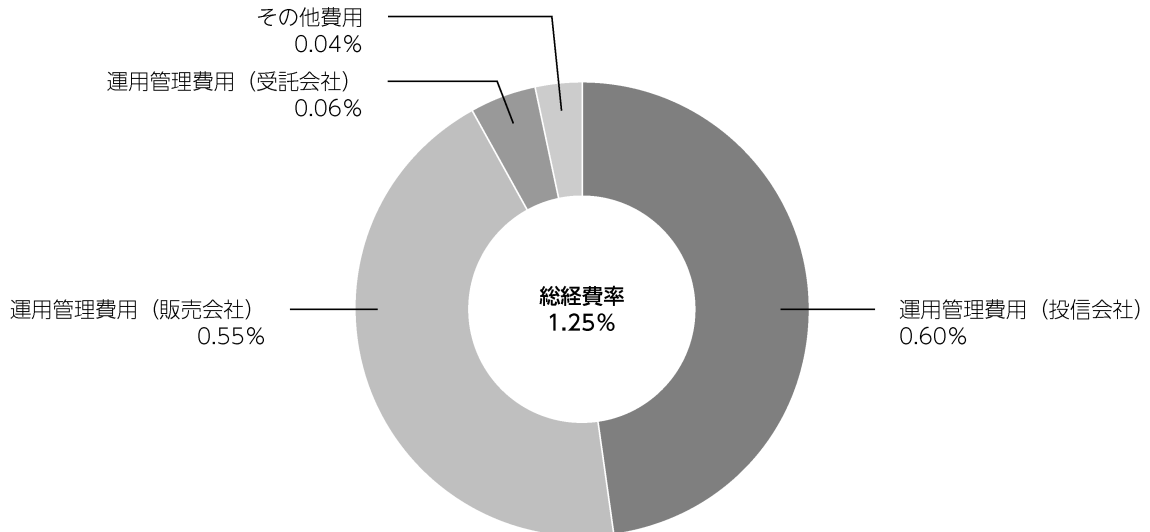
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.25%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

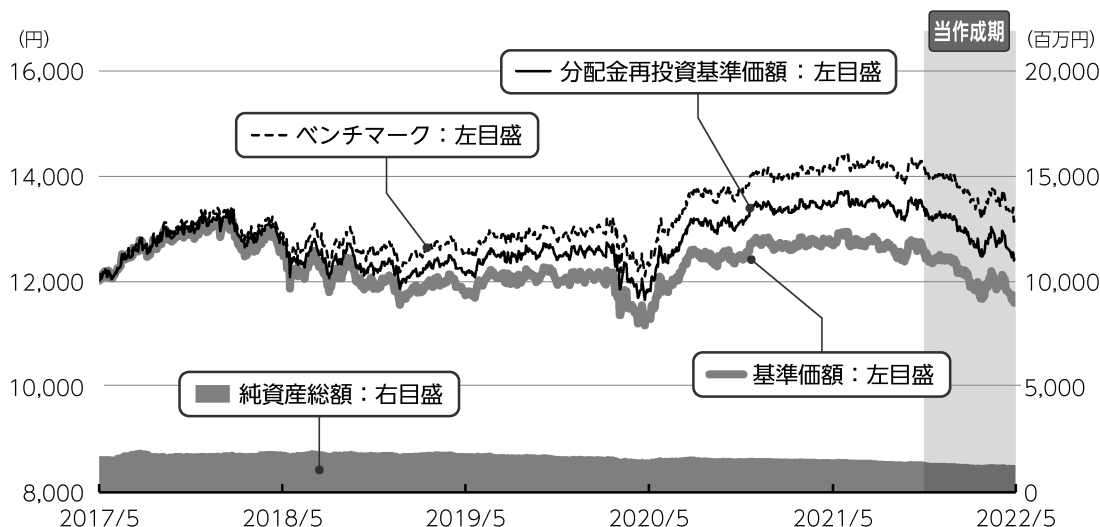
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年5月15日～2022年5月16日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2017年5月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2017/5/15 期初	2018/5/15 決算日	2019/5/15 決算日	2020/5/15 決算日	2021/5/17 決算日	2022/5/16 決算日
基準価額 (円)	12,020	12,608	11,740	11,320	12,703	11,598
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	230	175	155	150	140
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.8	-5.5	-2.3	13.6	-7.6
ベンチマーク騰落率 (%)	—	8.0	-3.6	-1.7	15.0	-7.0
純資産総額 (百万円)	1,703	1,923	1,839	1,562	1,561	1,274

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、F T S E EMU国債インデックス (円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第78期～第79期：2021年11月16日～2022年5月16日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**欧州長期金利は上昇しました。**

欧州長期金利は、域内主要国における新型コロナウイルスの感染再拡大を背景に、欧州中央銀行（ECB）の早期利上げ観測が一時的に後退したことなどから2021年12月上旬にかけて低下しました。その後、ECBが12月の理事会でパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）による債券の純購入を2022年3月に終了することを決定したことや、2月の理事会後の記者会見で、ラガルドECB総裁が2022年中の利上げを否定しなかったことなどから金融政策正常化の前倒し観測が高まり、欧州長期金利は2月中旬にかけて上昇しました。その後の欧州長期金利は、ウクライナ情勢の緊迫化による投資家のリスクセンチメントの後退などを背景に低下する局面もあったものの、主要国における金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景に上昇基調で推移し、

当作成期を通じてみると欧州長期金利は上昇しました。

### ▶ 為替市況

**ユーロは対円で上昇しました。**

ユーロは、域内主要国における新型コロナウイルスの感染再拡大を背景に、ECBの早期利上げ観測が一時的に後退したことなどから2021年12月中旬にかけて対円で下落しました。その後、ECBによる金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景に、ユーロは2022年2月中旬にかけて対円で上昇しました。その後は、ウクライナ情勢の緊迫化による投資家のリスクセンチメントの後退などを背景にユーロは対円で下落する局面もあったものの、金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景にユーロは対円で上昇基調で推移し、当作成期を通じてみるとユーロは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

欧州主要国（ユーロ参加国）の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。当作成期を通じて債券の組入比率は高位で推

移させました。

当作成期を通じてファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、ベンチマーク比中立付近でコントロールしました。

当作成期を通じてフィンランドをベンチマーク比オーバーウェイトで維持し、イタリアやアイルランドを同中立からオーバーウェイトでコントロールした一方、ベルギーやフランスを同中立からアンダーウェイトでコントロ

ールしました。ドイツは、当作成期首から2022年2月中旬にかけては同中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後は同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。

第78期～第79期：2021/11/16～2022/5/16

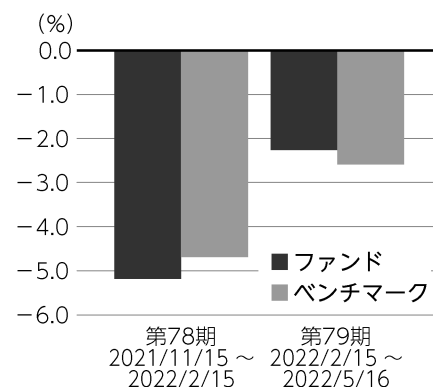
## 当投資信託のベンチマークとの差異について

ファンドの騰落率は、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（円ベース）の騰落率（-7.2%）を0.1%下回りました。

### マイナス要因

信託報酬など運用上の費用を計上したことなどがマイナスに影響しました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項目	第78期 2021年11月16日～2022年2月15日	第79期 2022年2月16日～2022年5月16日
当期分配金（対基準価額比率）	<b>35</b> (0.293%)	<b>30</b> (0.258%)
当期の収益	—	—
当期の収益以外	35	30
翌期繰越分配対象額	3,464	3,434

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

金利戦略においては、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。また、欧州各国の財政状況や政治動向、政策対応な

どを重視した国・銘柄選別に注力します。債券の組入比率は高位を維持し、国債中心の組み入れを維持する方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

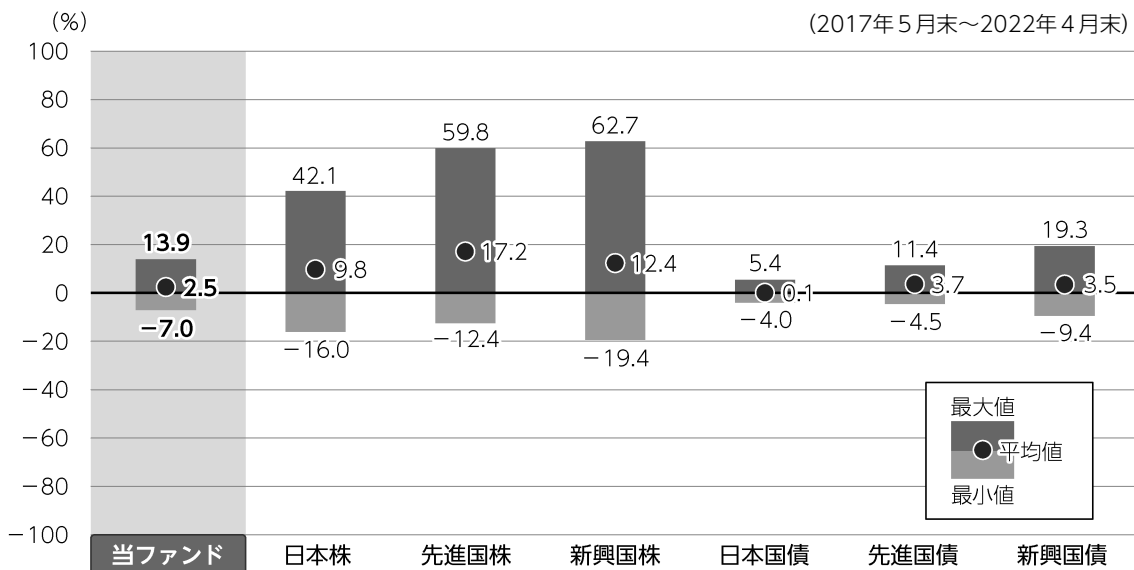
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2002年7月9日設定）
運用方針	欧州主要国（ユーロ参加国）の公社債への分散投資を行い、信託財産の長期的な成長をめざします。
主要投資対象	欧州主要国（ユーロ参加国）の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	欧州主要国の公社債を主要投資対象とし、分散投資を行うことにより、長期的な収益の獲得をめざします。
分配方針	毎年4回決算（原則として2、5、8、11月の各15日。ただし、15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年5月から2022年4月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2022年5月16日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：28銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	0.25 BUND 290215	債券	ドイツ	国債	12.3
2	2.75 SPAIN GOVT 241031	債券	スペイン	国債	8.4
3	0 O.A.T 270225	債券	フランス	国債	8.1
4	0.5 ITALY GOVT 260201	債券	イタリア	国債	7.1
5	1.45 ITALY GOVT 250515	債券	イタリア	国債	6.4
6	1.25 O.A.T 360525	債券	フランス	国債	5.5
7	0.5 FINNISH GOVT 290915	債券	フィンランド	国債	4.6
8	0 OBL 270416	債券	ドイツ	国債	4.1
9	2.45 ITALY GOVT 330901	債券	イタリア	国債	4.1
10	0 IRISH GOVT 311018	債券	アイルランド	国債	3.9

※比率は純資産総額に対する割合です。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

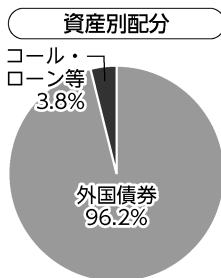
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 純資産等

項目		第78期末 2022年2月15日	第79期末 2022年5月16日
純資産総額	(円)	1,312,801,265	1,274,448,877
受益権口数	(口)	1,103,476,812	1,098,835,858
1万口当たり基準価額	(円)	11,897	11,598

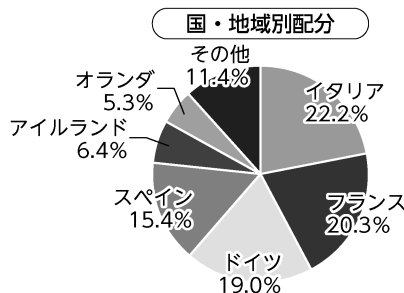
※当作成期間中（第78期～第79期）において追加設定元本は1,468,121円  
同解約元本は 54,785,352円です。

### 種別構成等

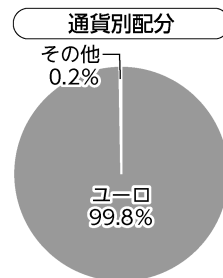


※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。



# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『FTSE EMU国債インデックス（円ベース）』について

FTSE EMU国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、EMU（経済通貨同盟）参加国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信